

「第28回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成16年4月3日 9:00~12:00

(2) コース : 上野庭めぐり - 歴史と自然が残る専業農業地域 -

バス停藤が沢(日野南4) 迎陽トンネル 野庭の武相国境尾根

(野庭町659) 崖斜面の石仏(野庭町1864) 浄念寺(1843)

野庭神社(野庭町1838) 野庭学校跡(野庭町1600) 上野庭早駆け道の

石仏(野庭町2480) 塚の古址(野庭町2630) 七曲開道記念碑

(栄区鍛冶ヶ谷町)解散



注1: 囲み数字(例=)はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

・ 野庭町について

正保元年（1664）に郷村帖と国絵図の見直しが行われ、野場から野庭に改名されるとともに上、下野庭村の2村に分かれた。明治22年の町村制施行の際には、隣村の永谷村と平戸村の飛び地と共に永野村大字上野庭・下野庭となり、昭和11年横浜市に編入され野庭町となりました。

鎌倉時代野場郷は鎌倉中の道、下の道の分岐点にも当り交通の要衝の地でもありました。三谷公園には天正十八年（1590）小田原落城の際、敵に降りること潔とせず野庭の里に隠棲した武士の碑があります。また、武相国境の道が、迎陽トンネルの上に通っています。

明治10年には上野庭の浄念寺のそばに野庭学校が創設されましたが明治24年の学校統合で廃校となり、校舎は永野村の役場として移築されました。

・ 迎陽トンネル

トンネル開通前、野庭と日野を結ぶ道は、道巾が狭く険阻な急坂の道でした。明治41年（1908）県道の拡張工事に併せて、野庭村民と、当時採掘を始めた野庭炭鉱の亜炭採掘業者が協力してトンネルを完成しました。当時のトンネル内部は掘削の跡がそのまま残っている状態でした。昭和53年に改修が行われ、現在の綺麗な形になりました。

(1) 迎陽トンネル

日野南4よりトンネルを抜ければ野庭町へ



(2) 迎陽トンネルの上から

日野南方面を見る



(3) 野庭を通る武相国境の道

突き当たりがトンネルの上左側に細い道がある



(4) 崖斜面の石仏

木が茂って道路から見ることが出来ない



(5) 浄念寺（浄土宗）

ア、入口と本堂
開山は1564年



(6) 浄念寺にある

北条時宗の石
昔、関城にあった



(7) 浄念寺の南側
傾斜面山林内に
ある玄入坊の祠



(8) 野庭神社鳥居前
旧野庭学校はこの
道右前方



(9) 野庭神社 社殿
祭神は日本武尊、野庭の氏神
境内に桜は創建時吉野山から



(10) 野庭の風景
野庭町 2516 付近
手前に蓮田がある



(11) 上野庭の石仏
早駆けの道にある



(12) 野庭三谷公園
この手前の丘に塚の古址がある
ここから大船の観音様が見える



(13) 野庭三谷公園
塚の古址前で白居易より話しを伺う
右上に古碑がある



(14) 塚の古址
北条氏政の家来
吉本（白居易）氏の碑



(15) 七曲開道記念碑
七曲は明治 9 年に
開道された

